

# 平成30年度 第1回 図書館協議会 会議録

## 1 日時

平成30年6月26日（火）午後2時～午後4時

## 2 場所

ラトブ4階 いわき総合図書館会議室

## 3 出席者

(1) 委員（出席：7名） 須藤里穂、草野チエ子、柳田明美、川口美岐男、有賀史人、  
藤谷美由記、高橋香里

（欠席：3名） 平原浩子、坂本節子、石原万里

### (2) 事務局

ア 教育委員会

教育部次長

イ いわき総合図書館

館長、猪狩副館長、大平副館長、図書企画専門員、総務管理係長、情報資料係長

ウ 地区図書館

小名浜図書館副館長、勿来図書館長、常磐図書館長、内郷図書館長、四倉図書館長

## 4 報告事項

(1) 平成29年度 図書館運営実績等について

① 実績統計

② 事業実施報告

(2) 平成30年度 図書館運営方針等について

① 運営方針及び主要事業

② 事業計画

## － 会議内容（司会進行：猪狩副館長） －

### 1 開会

（委員10名中7名が出席しており、いわき市立図書館協議会規則第4条第1項の規定による半数以上の出席があり、会議が成立した。）

### 2 輝くいわき学びあい都市宣言唱和

### 3 委嘱状交付

須藤里穂 新委員（H30.6.1～H31.3.31）に委嘱状を交付した。

### 4 教育長あいさつ（教育部次長代読）

### 5 委員、職員自己紹介

### 6 委員長、副委員長の選出

いわき市立図書館協議会規則第2条第2項の規定による委員の互選により、  
委員長 に 草野チエ子 委員、  
副委員長に 川口美岐男 委員 を選出した。

## 7 報告事項

いわき市立図書館協議会規則第2条第3項の規定により、草野委員長が会議を進行する。

### (1) 平成29年度 図書館運営実績等について

#### ① 実績統計

事務局より、資料1に基づき説明した。(総務管理係長)  
(資料は、「平成30年度いわき市の図書館 35～50ページ」と同じ。)

#### ② 事業実施報告

事務局より、資料2に基づき説明した。(図書企画専門員)  
(資料は、「平成30年度いわき市の図書館 27～34ページ」と同じ。)

### (質疑応答)

委員： 相双地区の市町村別の個人の有効登録者数の推移を確認したい。

事務局： 登録者数の推移を取りまとめ、後日、提示します。

委員： 震災後、市内の小学校入学児童で仮設住宅に入居している子どもが多くおり、市内の図書館をよく利用していると聞いている。最近、仮設住宅の撤去が進んでいるため、広野町など相双地区の住民の図書館の利用状況等の推移について確認をお願いしたい。

### (2) 平成30年度 図書館運営方針等について

#### ① 運営方針及び主要事業

事務局より、資料3に基づき説明した。(大平副館長)  
(資料は、「平成30年度いわき市の図書館 7～8ページ」と同じ。)

#### ② 事業計画

事務局より、資料4に基づき説明した。(情報資料係長)  
(資料は、「平成30年度いわき市の図書館 9～13ページ」と同じ。)

### (質疑応答)

委員： 学校図書館司書研修会の開催状況、参加人数について確認したい。

事務局： 本年度は、年4回の開催予定です。5月及び6月に開催した研修会では、1年目、2年目の学校司書を対象に「図書の分類の仕方」、「図書館の連携の方法」を講義しました。7月及び8月開催予定の研修会では、42名全員に講義を行う予定です。

なお、研修会を始めた当初は、学校司書4名のみでの参加であったものが、現在では全校に学校司書が配置されており、参加者も42名に増えている。

委員： 地域資料のデジタル化について、今後も新聞のデジタル化を継続していくのか。

事務局： 今後も新聞のデジタル化を進め行く予定です。進捗状況は、平など大きな地区にある新聞は比較的早く進んでいるが、四倉など小さな地区にある新聞は遅れている状況です。今後は、小さな地区にある新聞を取り上げてデジタル化を進めていきたい。

委員： 視聴覚障がい者に対して対面朗読を行う場所について、地区図書館でもコーナーを設けるなどスペースの確保をお願いしたい。対面朗読の希望者からは、総合図書館へ行くのが大変で、地区図書館を利用できないかとの要望がある。また、自宅で対面朗読を行ってほしいとの要望もあるが、対面朗読は、ボランティアスタッフのみで行っているため、自宅への訪問は行っていない。

事務局： 地区図書館では、地域から視覚障がい者に対する対面朗読を行う場所の貸出について要望があれば、場所と時間を指定して提供することは可能と考えます。ただし、貸出に当たっては、プライバシーに配慮した場所の確保や、利用者の移動手段などをどうしていくのかなど整理していく必要があると考えています。

委員： 総合図書館での対面朗読の利用者は、現在1名のみです。視覚障がい者用の点字図書を利用されている方は比較的多くいる。対面朗読の場合だと、朗読の途中、疑問点などのちょっとしたことを聞いたりすることができる。

委員： 図書館への移動手段がない高齢者等への貸出サービスはあるのか。

事務局： 図書の宅配サービスを福島県立図書館で行っています。

いわき市の図書館では、移動図書館による巡回、公民館及びITOSSの大学等図書館で貸出のサービスを行っています。

委員： 学習支援ルームは、中学生を対象としているが、高校生・大学生は利用できないのか。

事務局： 高校生・大学生は、学習室の利用をお願いしています。利用時の申し込みは必要ありません。

委員： 図書館の利用者増への取り組みについて、市内には歴史好きな人や歌が好きな人が集まって活動している文化サークルなど数多くあるが、総合図書館でも「いわきの文化サークル」、「いわきの文化活動」というようなタイトルでパネル展示みたいなものを開催してみるのが一つの方法ではないかと思う。

例えば、子どもの絵が掲示されると、親や親せきなどが見に来られるように、図書館に足を運ぶ切っ掛けづくりにもなるのではないか。

## 8 その他

事務局： 本日26日にオープンした「健康・医療情報コーナー」の概要等を説明した。会議終了後、コーナーを視察した。

事務局： 常磐図書館では読書スペースを広げるため、6月25日から30日までの蔵書点検に引き続き7月1日から13日まで館内修繕のため臨時休館します。また、小名浜図書館の学習室にエアコンの設置を予定しています。

小名浜、勿来、常磐、内郷、四倉の地区図書館5館については、今後、落ち着いた環境で読書ができるよう、計画的に施設修繕及び備品の更新等を進めてまいります。

## 9 閉会